

## ◆ 事務局

### 「令和2年度建築士定期講習」の日程について

平成29(2017)年度に受講された方は今年度が受講年度です。  
昨年度新型コロナウイルス感染拡大の影響で受講できなかった方も今年度受講してください。

会場コード	日程	会場	定員
3B-11	2021年3月30日(火) (DVD講習)	サンシップとやま	84

時間:9:20~17:30

受講料:12,980円(テキスト2冊含む)

申込先:建築士会事務局 平日 9:00~17:00 (建築技術教育普及センターのホームページからWEB申込も可能)

問合せ先:建築士会事務局 担当:佐藤

申込等詳細は本会ホームページをご覧ください。

### 建築関係技術者のための「監理技術者講習」(DVD講習)のスケジュール

開催日	会場
2021年3月25日(木)	富山県建築設計会館3階
2021年4月22日(木)	富山県建築設計会館3階
2021年5月27日(木)	富山県建築設計会館3階
2021年11月18日(木)	富山県建築設計会館3階
2021年12月16日(木)	富山県建築設計会館3階
2022年1月20日(木)	富山県建築設計会館3階
2022年2月15日(火)	富山県建築設計会館3階
2022年3月11日(金)	富山県建築設計会館3階

【講習開催日程】受付9:00開始 講習+試験9:30~17:30

申込等詳細は同封のチラシまたは日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

### 令和2年度建築士免許交付式

日時:令和3年3月9日(火) 9:30~12:00(受付9:00~)

会場:サンシップとやま(富山県総合福祉会館)1階福祉ホール

## 内容:

交付式 9:30~10:20

講演会 10:30~11:40

講師:齋田 武亨氏(本瀬齋田建築設計事務所)

演題:「風景を翻訳しデザインする」

※講演会の聴講はどなたでも可能です。

問合せ先:建築士会事務局 TEL 076-482-4446(白川)

※詳細は先月号に同封の案内チラシをご覧ください。

## ◆ 研修委員会

### 専攻建築士制度に関するアンケートについて

専攻建築士制度は発足から約15年が経ちます。今回、専攻建築士制度についてアンケートを行い、今後の富山会の運営に活かしていきたいと思っております。別添のアンケートにご回答をお願いいたします。

特に専攻建築士の方全員の回答をよろしくお願いいたします。

## ◆ 富山県木造住宅生産体制強化推進協議会

### 改正建築物省エネ法オンライン講座資料及び説明動画DVDの配布について(3月末まで)

改正建築物省エネ法が令和3年4月1日から施行されます。国土交通省ではこれまで改正建築物省エネ法説明会を全国各地で開催してまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、今年度はオンラインまたはDVDで説明会を開催しています。

講座資料・解説図書及びオンライン講座で掲載している説明動画のDVDは、建築士会でも配布しています。(3月末まで)

県内の配布拠点は建築士会のみとなっております。

配布場所は建築設計会館2階建築士会入口前です。

詳細はオンライン講座HP(<https://shoenehou-online.jp/>)でご確認ください。



## 新川支部視察研修会報告

### I 谷口吉郎・吉生記念金沢建築館の視察

かねてから隣県金沢生まれで、日本建築界の重鎮として活躍された谷口吉郎氏の訃告に触れる機会はないものかと思っていましたが、金沢名誉市民第一号として推戴されたことから昨年、谷口吉郎・吉生記念金沢建築館が、ご子息で国際的に活躍されている吉生氏の設計により建築開館しました。吉生氏はハーバード大学で建築を学ばれた鬼才でもあり、心躍らせてこの建築館の視察を行うことに致しました。

常設展では、吉郎氏が設計された迎賓館赤坂離宮別館・遊心亭の広間と茶室が、かつてそれを手懸けた東京の水沢工務店が自社の熟練大工により忠実に再現しました。その空間づくりと氏独自のディテールや職人技能とのコラボレーションによる端正で気品あふれる建築を堪能しました。同時にこのような数寄屋の設計者や大工が減少していることに危惧を覚え、匠の技が遠からず絶えてしまうのではないかとの思いも強く感じられました。日本の伝統建築の技が「ユネスコ無形文化遺産」に登録されることになり、その技を守り継ぐ匠達に敬意を払い、その技を駆使する環境を造るため、社会に対して仕掛ける建築技術の理解者が多くなることを願う強い気持ちがあつるばかりです。



遊心亭の広間



市内借景の水盤庭

特別展では、海外で高い評価を受けている日本の現代建築家数名が、海外で設計した作品の模型が展示されており、我々が普段目にする建築模型を遙かに凌駕し、形や色彩も本物と同様に精巧で、高さ2m近いものもあり、その造形に圧倒され、久しぶりに建築家として強い刺激を受けた素晴らしい機会でありました。写真撮影は禁止でここに掲載できないのは残念です。

### II CLT 建材製造工場「柁中東」の視察

近年、木質の建築が国策としても推奨されていることから CLT 建材について学ぶため、北陸で唯一製造している石川県能美市の柁中東に視察研修をお願い致しました。

新型コロナ禍での悩ましい時期でありましたが、役員会でご検討くださり、快く視察研修を受け入れて戴きました。CLT 建材の特色や採用事例等を詳しく説明を受け、大規模建築物から木造住宅等へも採用可能な建材で、我々の周囲で手懸ける建築物にも採用活用すべきものと認識しました。

しかし、集積材は接着剤を多量に使用するため燃えにくく、その際に発煙も多く又、チップとしてパルプ化も難しいので、廃材となった折にはリサイクルに問題が有るのではと思われました。その後に広大な工場を案内して戴き、大規模集積材の製造工程も見学させてもらい有意義な研修となりました。